

平成22年度当初予算 重点的な取組別概要
<みえの舞台づくりプログラム>

元気4：知恵と知識を呼び込み、多様なイノベーションを生み出せる環境づくりプログラム

(主担当部：農水商工部)

<プログラムの目標>

知恵と知識を呼び込み、県内製造業の知識集約型産業構造への転換をリードする人材や、地域に密着したビジネスを創出できる人材など、多様なイノベーションを生み出せる人材が育つ環境の整備が進められています。

<構成事業（担当部）>

- (1) 研究開発機能集積促進事業（農水商工部）
- (2) 産業人材育成基盤整備事業（農水商工部）
- (3) 地域イノベーション人材育成基盤整備事業（農水商工部）
- (4) みえ地域コミュニティ応援ファンド（果実運用型）事業（農水商工部）
- (5) コミュニティビジネス支援事業（農水商工部）

<プログラムの事業費>

（単位：千円）

		H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
策定時の見込額	1	1,065,637	1,015,500	104,000	86,000
予算額等	2	1,052,424	3,940,903	162,047	201,142

1 第二次戦略計画策定時における計画記載額

2 H19,20年度は決算額、H21年度は予算現額、H22年度は予算要求額

<構成事業の目標>

目標項目		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
(1) ネットワークを活用した研究開発数	目標値		3 件	4 件	7 件	8 件
	実績値	2 件	3 件	6 件		
(2) 育成がはかられた産業技術人材数	目標値		180 人	240 人	309 人	339 人
	実績値	151 人	210 人	279 人		
(3) 最適な生産設備をシステム構築できる人材等の育成数（累計）	目標値				20 人	40 人
	実績値					
(4) ファンドによる新事業創出数	目標値			20 件	30 件	30 件
	実績値		5 件	20 件		
(5) コミュニティビジネス相談件数	目標値				30 件	50 件
	実績値					

<進捗状況（現状と課題）>

- ・ 技能者・技術者向けの産業人材育成講座を北勢地域から中南勢地域へ拡大するとともに、研究開発プロジェクトを活用し、最先端素材・要素技術の研究開発を担う研究人材の育成にも取り組んでいます。また、メカトロに関する技術人材育成に向けた組込みソフト講座等を開始していま

す。

- ・ 高度部材イノベーションセンター（AMIC）において、企業間連携や県内外の大学・研究機関との連携が具体化しており、研究開発プロジェクトの獲得・実施を進めています。
- ・ 「ドイツ・NRW州」や「フランス・アルプインダストリー」等の海外の産業クラスターや研究機関とのネットワークづくりを進めています。
- ・ メカトロ技術の地域産業への導入・活用による生産性向上を目指して、事業者ヒアリングによる課題解決や技術開発支援、サプライヤーとユーザーをつなぐセミナーの開催などを実施しています。
- ・ 県内各地域において地域の課題を解決するビジネスや地域資源を活用したビジネスの活発化に向けて、「みえ地域コミュニティ応援ファンド」の運用果実による新事業創出支援を行うとともに、地域の特性を生かした事業等を行うコミュニティビジネスの普及・啓発を担う人材の育成支援を行っています。
- ・ 引き続きこれらの取組を進め、各事業の連携をはかっていくなかで、多様なイノベーションを生み出す環境づくりを進めていく必要があります。

<平成22年度の取組方向>

研究開発機能の県内への集積を目指して、企業や大学などとの連携により国等の研究開発プロジェクトの誘致に取り組みとともに、県内企業と海外の企業や研究機関との連携を進めます。

市場の大幅な拡大が見込まれる環境・エネルギー分野など、低炭素社会の実現に向けた取組を進めます。

AMIC等で実施する研究開発プロジェクトの誘致に取り組みとともに、研究開発プロジェクトを通じた研究人材の育成や製造現場と連携した技術人材・技能人材の育成を図るなど、産業人材育成プログラムのさらなる充実を図ります。

中小企業を中心とする県内企業の技術力や生産性の向上に向けて、メカトロ技術の活用による企業の課題解決に向けた支援を進めます。

「みえ地域コミュニティ応援ファンド」による新たな地域ビジネスへの支援に加え、コミュニティビジネスの振興のため、アドバイザー人材の活用等による中間支援機能の充実を図るとともに、地域の生活基盤である商業機能に着目した取組を進めます。

<他の主体の参画内容>

- ・ 四日市市はAMICの基盤整備や活動、津市はメカトロ技術に関するコーディネートについて、県とともに取り組んでいます。また、各市町との協力のもと、地域の課題に対応したビジネスや地域資源を活用したビジネスに関する支援機能の充実を図っています。
- ・ 企業や大学等研究機関は、研究開発プロジェクトや産業技術人材育成事業に積極的に参画するとともに、地域の特性を生かした事業や地域課題に対応した事業などの創出に取り組んでいます。

<主な事業>

（一部新）研究開発機能集積促進事業【基本事業名：23103 産業クラスターの形成】（事業（1））

予算額：（21） 41,682千円 （22） 37,539千円

事業概要：県内における企業等の研究開発機能の集積に向けて、海外を含めた県内外の研究機関などとの連携促進や研究開発プロジェクトの立案に取り組むとともに、海外の産業クラスターや研究機関との連携を支援します。

(新)低炭素社会を見据えた産業政策推進事業

【基本事業名：23103 産業クラスターの形成】(事業(1))

予算額：(21) - 千円 (22) 30,991千円

事業概要：県内企業による環境・エネルギー分野の研究開発やビジネス展開を促進し、県内企業の高度化をはかるため、技術動向や市場の調査、プロジェクト構築に向けたコーディネートなどを行います。

(一部新)産業人材育成基盤整備事業【基本事業名：23105 産業人材の育成等基盤整備】(事業(2))

予算額：(21) 80,694千円 (22) 65,860千円

事業概要：AMICを舞台に、最先端の研究開発の促進、中小企業の課題解決支援、産業技術人材の育成などに取り組みます。特に、イノベーション創出の基盤となる産業人材の育成に向けて、県内各地域で各種講座等を開催します。

(一部新)地域イノベーション人材育成基盤整備事業

【基本事業名：23105 産業人材の育成等基盤整備】(事業(3))

予算額：(21) 8,954千円 (22) 14,335千円

事業概要：メカトロ技術に関して、関連技術の活用による県内産業の生産性向上を促進するとともに、大学や企業が有する多様な要素技術の融合・活用を促進させるため、セミナーの開催や企業が取り組む技術開発の支援を行います。

(一部新)みえ地域コミュニティ応援ファンド(果実運用型)事業

【基本事業名：23202 地域産業の活性化】(事業(4))

予算額：(21) 1,142千円 (22) 6,500千円

事業概要：「みえ地域コミュニティ応援ファンド」の運用果実を活用し、地域コミュニティへの貢献度が高い案件や、地域資源を活用した新しいビジネスの創出を資金面から支援する取組を進めるとともに、こうした地域の知恵と知識や資源を活用した事業をより多く創出するための体制づくりを行います。

(新)生活インフラとしての地域商業活性化モデル事業

【基本事業名：23204 中心市街地と商業の活性化】(事業(5))

予算額：(21) - 千円 (22) 4,169千円

事業概要：住民生活にとって必要不可欠な生活基盤である商業機能を基本に、地域の安全・安心など時代に即した住民ニーズを織り込んだ新たな展開を目指すモデル企画を公募・選定し、委託事業として実施したうえで、その効果を検証します。